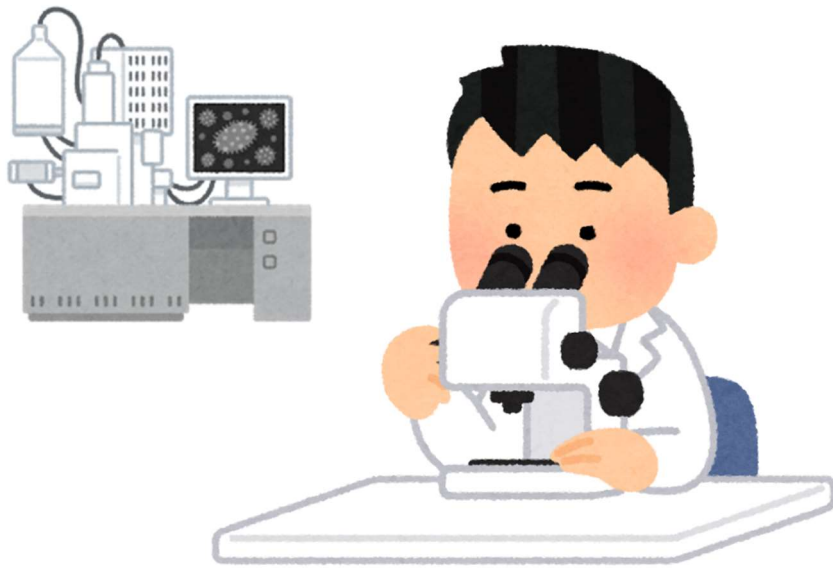


ミクロの世界



人類よりもはるか昔、地球上に最初に誕生した生命体、微生物。

バイ菌扱いされ嫌われるものもあれば、体に良いと重宝されるもののあります。また、ミクロの世界の中には、物を構成する細胞、や分子や原子、そしてさらに細かく見ることで素粒子という存在も明らかになっています。

そんな肉眼では見るのが難しい微生物やウイルス、分子・原子・素粒子の世界をかいまみて、日々の暮らしに役立ててみませんか？

編集・発行

さいたま市立中央図書館

令和7年1月

顕微鏡でクローズアップ



 『美しい顕微鏡写真』

寺門和夫／監修・解説 パイインターナショナル 2016年

 『デジタル顕微鏡で楽しむ!ミクロワールド美術館』

池田圭一／著 技術評論社 2018年

デジタル顕微鏡は顕微鏡とデジタルカメラを合体させたようなものです。塩、公園の砂、入浴剤など身の回りのものをのぞいてみたら…。

 『ときめく微生物図鑑』

塩野正道／写真 塩野暁子／写真 山と溪谷社 2016年

プランクトンの採集方法から細菌・カビ・バクテリアなど様々な微生物のエピソードを顕微鏡写真とともに解説。

 『わらうプランクトン』 ひらいあきお／著 小学館 2015年

微生物ってなんだろう？

 『図解身近にあふれる「微生物」が3時間でわかる本』

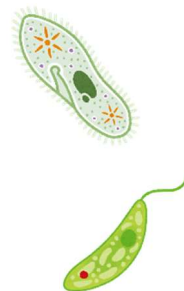
左巻健男／編著 明日香出版社 2019年

 『好きになる微生物学』 渡辺渡／著 講談社 2015年

 『休み時間の微生物学』第2版 北元憲利／著 講談社 2016年

 『地球とヒトと微生物』 山中健生／著 技術評論社 2015年

最古の生物、微生物は誕生当時どのようにしてエネルギーを確保していたのだろうか。地球やヒトに与えた影響・関係を探る。



役立つ微生物～発酵

『マンガで読む発酵の世界』 黒沼真由美／著 緑書房 2020 年

『発酵食品を楽しむ教科書』 金内誠／監修 ナツメ社 2023 年

日本に限らず、世界で食されている発酵食品。歴史や製法、種類、特色をやさしく解説した 1 冊。

『絵でわかる麴のひみつ』

小泉武夫／著 おのみさ／絵・レシピ 講談社 2015 年



『あなたの知らない乳酸菌力』 後藤利夫／著 小学館 2011 年

『食をめぐる「菌」の話』 今野宏／著 産学社 2022 年

悪さをするもの?!～ウイルス・バイ菌・カビ

『ウイルス・細菌の図鑑』 北里英郎／他著 技術評論社 2016 年

『カビの取扱説明書』 浜田信夫／著 KADOKAWA 2020 年

『インフルエンザウイルスを発見した日本人』

山内一也／著 岩波書店 2023 年

『ウイルスはそこにいる』

宮坂昌之／著 定岡知彦／著 講談社 2024 年

『洗浄と殺菌のはなし』 最新版

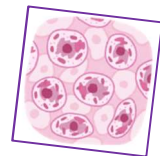
新名史典／編著他 同文館出版 2020 年



風邪はうつしたら治るのは本当か。マスクや手袋で食中毒・感染症は防げるのか。正しい洗浄・殺菌の方法、感染経路について学べる。

からだを作るもの～細胞・染色体・遺伝子

 『ヒトの遺伝子と細胞』 西村尚子／著 技術評論社 2015年



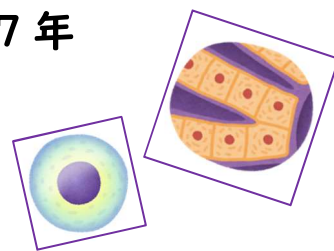
 『細胞の不思議』 永田和宏／著 講談社 2015年

人体の多くの細胞、1日に全細胞の2%が、1年で約90%が入れ替わるといいます。細胞に関する様々なトピックスを取り上げた入門書。

 『カラダの知恵』 三村芳和／著 中央公論新社 2017年

 『iPS細胞の歩みと挑戦』

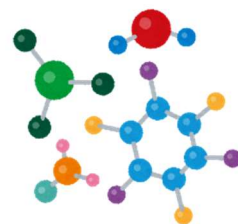
中内彩香／著 和田浜裕之／著 東京書籍 2020年



小さな小さな世界へ～原子・分子

 『世界で一番美しい分子図鑑』

セオドア・グレイ／著 武井摩利／訳 創元社 2015年



 『粒でできた世界』

結城千代子／著 田中幸／著 太郎次郎社エディタス 2014年

 『元素118の新知識』 第2版 桜井弘／編著 講談社 2023年

このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館で所蔵しています。貸出や予約(順番待ち)ができます。

さいたま市図書館ホームページ

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500